



連携型中高一貫教育講演会

「おもしろ茨城再発見～地域の魅力のを見つけ方～」

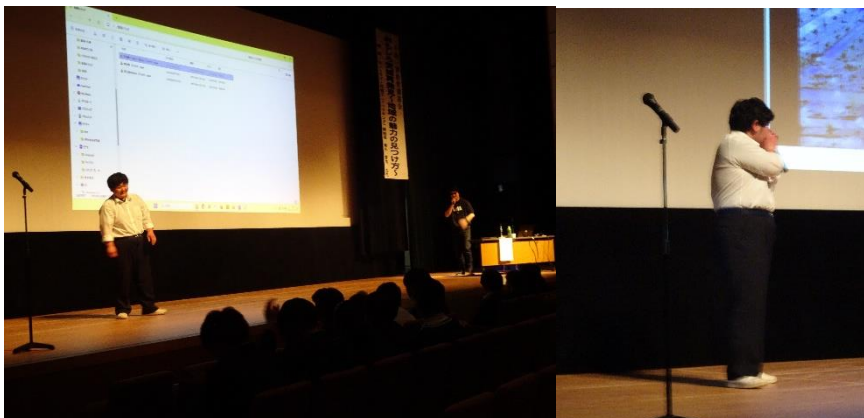
12月7日（木）、明峰中・小瀬高の全校生徒を対象に、連携型中高一貫教育講演会を開催しました。

今回は、講師としてWebサイト茨城王（イバラキング）開設者兼イバラッパーの青木智也さんをお招きしました。

講演では、地域の魅力のを見つけ方やWebサイト茨城王（イバラキング）を開設するまでの経緯についてお話していただきました。魅力度1位と最下位は表裏一体であることや地域の方言など茨城の特色について、たくさんのスライドを用いて説明していただきました。リフレーミングの視点から具体的な例を挙げてお話しいただいたことで、会場の中高生も納得していました。また、『常陸大宮の1番・意外なもの』について取材メモを元に紹介していただきました。地域に住んでいる私たちでもよくわかっていないものも多く、目を丸くしていました。その中でも『お菓子処ふるさわ』の生クリーム大福がスクリーンに映し出されると大きな歓声が沸き起こりました。自分たちの住んでいる地域の名産品や施設、魅力に気づけた瞬間でした。



次に、Webサイト茨城王（イバラキング）を開設するまでの経緯についてお話いただきました。大学時代には「訛っているね」と言われたことや茨城県は「いばらぎけん」と表記されていることに疑問をもち、茨城弁を『素朴で温かい地元の文化』『「面白いもの」として広めていく』茨城王（イバラキング）としての活動の原動力になったことにも触れていただきました。使い慣れ、聞き慣れている(?)茨城弁をたくさん紹介していただくと、今の中高生にとっては……。先生方にとっては“うん、うん”講演会のはじめに紹介された“いやどうも”どんなときでも使えるユーティリティな茨城弁ですね。



講演の最後には、イバラッパーとしての活動もご紹介いただきました。小瀬高2年生の鈴木歩夢さんにも飛び入りで参加してもらいました。文化祭でも披露したボイスパーカッション。青木さんとのコラボ。素敵でしたね。



No Challenge No Future

～継承と開拓～